

信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター 紀要『教育実践研究』投稿規程

第1条 投稿内容

信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター紀要『教育実践研究』は、教育実践に携わる教育者や研究者にとって活用価値が高く、先行実践を踏まえながら実践研究が十分に行われている下記の論文等を掲載する。これらは他の刊行物に発表されていないものとする。

- (1) 原著論文：教育実践を対象とした理論的、実証的、臨床的、または開発的な論文などで、審査を経て受理されたもの。なお、第16号までに「論文」として掲載されたものはこれに該当する。
- (2) 論文：教育実践を対象とした理論的、実証的、臨床的、または開発的な論文など。
- (3) 実践報告：教育実践の目的、特色、経過、成果などについて報告したもの。
- (4) 資料：教育実践に関するデータを収集、整理したもの。
- (5) 解説：特定の主題について、その進歩や見通しなどを、専門外の読者にもわかりやすく記述する啓蒙的内容を含むもの。
- (6) その他：(1)–(5)以外のもので編集委員会が必要と認めたもの。

第2条 執筆者

執筆者には、信州大学学術研究院教育学系に属する教員、非常勤講師および信州大学教育学部附属学校の教員を含むこと。ただし、編集委員会が認めた場合、その限りではない。

第3条 執筆要項

- (1) 論文等の長さは、題名、図表、写真、注、参考文献などを含めて、刷り上り10頁以内とする。
- (2) 論文等は別に定める『教育実践研究』書式に従い作成し、所定の部数を提出すること。
- (3) 論文等の掲載が認められた場合には、版下原稿とデータファイルを提出すること。

第4条 審査要項

- (1) 第1条の投稿内容(1)に該当する論文は、審査を経て本誌への掲載が決定される。各論文の審査は編集委員と編集委員会が委託する学部内外の複数の審査協力者によって、ダブル・ブラインド法を用いて行われる。審査の結果は編集委員会より投稿者に通知される。修正が必要な論文は、編集委員会の指示を参考にして指定の期日までに再提出が求められる。再提出後の論文は再審査を経て掲載が決定される。

- (2) 第1条の投稿内容(2)-(6)に該当する論文等は、編集委員会の確認を経て本誌への掲載が決定される。

第5条 編集および発行

- (1) 『教育実践研究』は必要に応じて不定期に発行する。
- (2) 『教育実践研究』の編集および発行に関する事項は編集委員会において決定する。
- (3) 編集委員会は、信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター教員と運営委員会で推薦された運営委員の計7名程度の委員で構成し、委員長は委員の互選で選出する。
- (4) 投稿可能な論文等の数は筆頭著者としては原則として1本とする。
- (5) 別刷りを希望する著者に対しては論文提出時に部数を申し出ることにより実費で配布する。
- (6) 『教育実践研究』は電子媒体で公開、公表される。

第6条 著作権

『教育実践研究』に掲載される論文等の著作権及び電子的形体による利用も含めた包括的な著作権も原則として信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センターに帰属する。ただし、著者が自分の論文等を複製、翻訳、翻案等の形で利用することは差し支えない。しかし、翻訳や論文等の全部あるいは大部分を他の著作物に利用する場合には、その旨を信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センターに申し出ること。また、一部分を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記すること。他誌から本誌に引用される場合は、引用する文献の著作権に十分注意し、図面・表・写真を他の図書、雑誌などから引用する場合は、事前にその著者及び出版社の了承を得ておくこと。

<付則>

- (1) 本規程の変更は運営委員会の承認を得るものとする。
- (2) 本規程は平成12年01月26日から実施する。
- (3) 本規程は平成14年10月24日から実施する。
- (4) 本規程は平成18年05月08日から実施する。
- (5) 本規程は平成19年05月17日から実施する。
- (6) 本規程は平成20年05月14日から実施し、第09号から適用する。
- (7) 本規程は平成22年04月21日から実施し、第11号から適用する。
- (8) 本規程は平成24年10月15日から実施し、第13号から適用する。
- (9) 本規程は平成29年04月20日から実施し、第16号から適用する。
- (10) 本規程は平成30年02月08日から実施し、第17号から適用する。
- (11) 本規程は令和04年04月22日から実施し、第21号から適用する。

<原稿提出先>

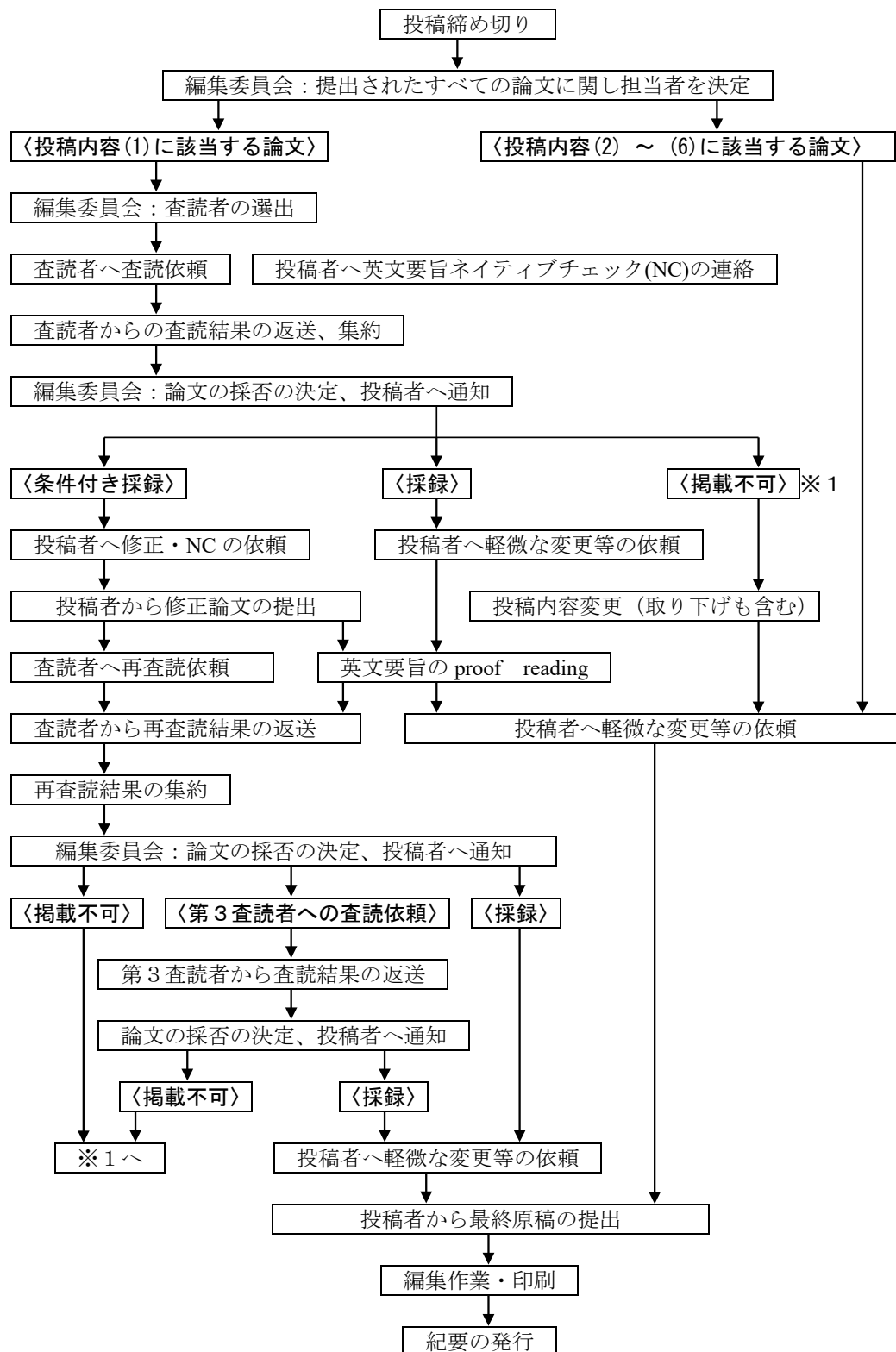
〒380-8544 長野県長野市西長野6-10

信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター事務室

Tel・Fax：(026) 238-4242, E-mail：crilofc@shinshu-u.ac.jp

(または信州大学教育学部庶務係前の学びセンターメールボックス)

査読を含む編集の流れ



<原著論文・論文・資料・解説>

『教育実践研究』<原著論文・論文・資料・解説>書式
—この見本にあわせて作成してください。—

信 太郎 信州大学学術研究院教育学系
信州次郎 信州大学大学院教育学研究科
信州花子 長野市立信濃中学校

Instruction for Authoring Manuscripts for Bulletin of the Center
for Educational Research and Training

SHIN Taro: Institute of Education, Shinshu University
SHINSHU Jiro: Graduate School of Education, Shinshu University
SHINSHU Hanako: Shinano Junior High School, Nagano City

The traditional classroom staffed by a single teacher is rapidly being replaced by one in which a team of adults collaborate to meet pupil needs. Paraprofessionals are an invaluable resource to teachers, not only in representing extra time spent with individual pupils or an extra pair of hands, but in the experience they bring to the job. Many have few formal qualifications, but a number of states and school districts in the USA have begun to provide training, as have some local education authorities in the UK. The most appropriate and useful format for paraeducator training is on the job.

【キーワード】 書式 レイアウト 版下 縮小印刷 カメラレディ

1. はじめに

原稿は A4 で作成してください。余白部分がカットされ、原寸大で B5 に写真印刷されます。この例にしたがい雛型ファイルを用いて作成していただければ、統一性のあるものになります。皆様のご協力をお願いいたします。

論文本体を、インターネットにより公開（PDF ファイルとして）します。後日、ご連絡しますのでファイルの提供をお願いします。以下の数値は A4 での値を示しています。

- ①用紙は、A4、縦置き、横書き。1 頁 40 文字×36 行。
- ②余白は、天 25mm、地 60mm、左 40mm、右 35mm。
- ③本文は、10 ポ。フォントは、和文は MS 明朝、英文は Century。
- ④10 ページ以内。偶数ページ数が望ましい。ページ番号は右下すみ。
- ⑤句読点は、全角のカンマ「，」、ピリオド「。」を用いる。

⑥英数字は、半角。(大見出し番号のみ全角)

なお、商品ロゴや登録商標などを本文中に記載するときは、企業等の指定通りに適切に記載する。

2. タイトル部分

2.1 日本語表記について

- (1) 種別 MS 明朝, 10 ポ. <原著論文>, <論文>, <資料>, <解説>から選択する.
- (2) タイトル MS ゴシック, 12 ポ. 中央揃え.
- (3) サブタイトル MS ゴシック, 11 ポ. 中央揃え.
- (4) 著者名と所属 MS 明朝, 10 ポ. 氏名と所属 (学生, 院生の場合には専攻等).
位置は本例のように氏名, 所属の先頭文字を揃え, 中央に配置する.

2.2 英語表記について

- (1) タイトル Century, 12 ポ. 中央揃え.
- (2) サブタイトル Century, 11 ポ. 中央揃え.
- (3) 著者名と所属 Century, 10 ポ. 中央揃え.

氏名の書き方 大文字の姓と頭文字のみ大文字の名前とする. 例: SHINSHU Taro

2.3 要旨とキーワードについて

- (1) 本文が和文のときは, 英語要旨 (150 語以内), 英文のときは和文要旨 (200 字以内).
Century, MS 明朝などの書体. 10 ポ. 1 行目は全角 2 字分下げる.
- (2) 和文キーワード MS 明朝, 10 ポ. 括弧は【 】を使う. 5 語以内, 空白で区切る.

3. 見出し, 項目番号

3.1 大見出しの番号とピリオドは全角, MS ゴシック, 10 ポ 例: 1. はじめに

3.2 中見出し以下の数字とピリオドは半角, フォントは本文と同じ

(1) 括弧と数字は半角

1) 片括弧と数字は半角

①全角

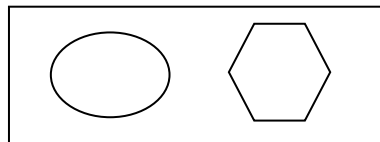


図1 図のキャプションの例

4. 図表

キャプションはMS ゴシック, 10 ポ. 図表に対して中央揃え.

図・表・写真は適切な位置に貼り込んで提出してください.

文献

本文中での引用は次のようにし, 論文等の最後に著者名のアルファベット順に一覧をあげる (和文誌・英文誌でわけない).

(例) 長野 (2010) は…, あるいは, …と述べている (NAGANO 2011)

なお, 著者人数によって, 下記のような表記とする.

単著の場合, (長野 2010) および (NAGANO 2011)

2名の著者の場合, (長野・松本 2010) および (NAGANO and MATSUMOTO 2011)

3名以上の著者の場合, (長野ほか 2010) および (NAGANO *et al.* 2011)

雑誌の場合, 著者, 発表年, 表題, 雑誌名, 巻数, 論文所在ページの順に, 単行本の場合, 著者, 発行年, 書名, 発行所, 発行地 (, 必要があれば引用ページ) の順に, Web ページを参照する場合, 著者, 発行年, 表題, URL アドレス, 参照日の順に記述する.

著者 A1, 著者 A2, 著者 A3, 2010, 論文表題, 掲載雑誌名, 23(4), pp.34-45

著者 B1, 著者 B2, 著者 B3, 2011, 単行本の書名, 出版社名, 発行地名, pp.56-67

著者 C1, 2016, Web ページ等の表題, <http://cril-shinshu-u.info/> (accessed 2017.12.06)

<実践報告>

『教育実践研究』 <実践報告>書式
—この見本にあわせて作成してください。—

信 太郎 信州大学学術研究院教育学系
信州次郎 信州大学大学院教育学研究科
信州花子 長野市立信濃中学校

Instruction for Authoring Manuscripts for Bulletin of the Center
for Educational Research and Training

SHIN Taro: Institute of Education, Shinshu University
SHINSHU Jiro: Graduate School of Education, Shinshu University
SHINSHU Hanako: Shinano Junior High School, Nagano City

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 研究の目的 | 例：習熟度別学級におけるコンピュータ活用の効果を明らかにすること。 |
| キーワード | 例：英語 総合的な学習の時間 教育相談 評価 機器の活用 |
| 実践の目的 | 例：習熟度別学級における算数指導 |
| 実践者名 | 例：第一著者と同じ |
| 対象者 | 例：長野県〇〇市立 T 小学校 6 年生（76 名） |
| 実践期間 | 例：2010 年 5 月～11 月 |
| 実践研究の方法と経過 | |
| 実践から得られた知見・提言 | |

1. はじめに

原稿は A4 で作成してください。余白部分がカットされ、原寸大で B5 に写真印刷されます。この例にしたがい雛型ファイルを用いて作成していただければ、統一性のあるものになります。皆様のご協力をお願いいたします。

論文本体を、インターネットにより公開（PDF ファイルとして）します。後日、ご連絡しますのでファイルの提供をお願いします。以下の数値は A4 での値を示しています。

- ①用紙は、A4、縦置き、横書き。1 頁 40 文字×36 行。
- ②余白は、天 25mm、地 60mm、左 40mm、右 35mm。
- ③本文は、10 ポ。フォントは、和文は MS 明朝、英文は Century。
- ④10 ページ以内。偶数ページ数が望ましい。ページ番号は右下すみ。
- ⑤句読点は、全角のカンマ「，」、ピリオド「。」を用いる。
- ⑥英数字は、半角。（大見出し番号のみ全角）

なお、商品ロゴや登録商標などを本文中に記載するときは、企業等の指定通りに適切に記載する。

2. タイトル部分

2.1 日本語表記について

- (1) 種別 MS 明朝、10 ポ。＜実践報告＞と 1 行目に記述。
- (2) タイトル MS ゴシック、12 ポ。中央揃え。
- (3) サブタイトル MS ゴシック、11 ポ。中央揃え。
- (4) 著者名と所属 MS 明朝、10 ポ。氏名と所属（学生、院生の場合には専攻等）。
位置は本例のように氏名、所属の先頭文字を揃え、中央に配置する。

2.2 英語表記について

- (1) タイトル Century、12 ポ。中央揃え。
- (2) サブタイトル Century、11 ポ。中央揃え。
- (3) 著者名と所属 Century、10 ポ。中央揃え。

氏名の書き方 大文字の姓と頭文字のみ大文字の名前とする。 例：SHINSHU Taro

2.3 研究の目的・キーワード等について

この例にしたがい、次の事項を表形式で最初のページに記載してください。

表内のフォントは、本文と同じく、MS 明朝／Century、10 ポ。

- (1) 研究の目的
- (2) キーワード 5 語以内、空白で区切る。
- (3) 実践の目的
- (4) 実践者名 「第一著者と同じ」のように書くか、実践者氏名をフルネームで。
- (5) 対象者 学校園所在地、学校園名、学年など。人数は（〇名）と括弧書き。
- (6) 実践期間 西暦で。 例：2010 年 4 月～2011 年 1 月

- (7) 実践研究の方法と経過
- (8) 実践から得られた知見・提言

3. 見出し、項目番号

3.1 大見出しの番号とピリオドは全角，MS ゴシック，10 ポ 例：1. はじめに

3.2 中見出し以下の数字とピリオドは半角，フォントは本文と同じ

(1) 括弧と数字は半角

1) 片括弧と数字は半角

①全角

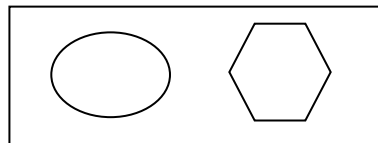


図1 図のキャプションの例

4. 図表

キャプションはMS ゴシック，10 ポ. 図表に対して中央揃え.

図・表・写真は適切な位置に貼り込んで提出してください.

文献

本文中での引用は次のようにし，論文等の最後に著者名のアルファベット順に一覧をあげる（和文誌・英文誌でわけない）.

（例）長野（2010）は…，あるいは，…と述べている（NAGANO 2011）

なお，著者人数によって，下記のような表記とする.

単著の場合，（長野 2010）および（NAGANO 2011）

2名の著者の場合，（長野・松本 2010）および（NAGANO and MATSUMOTO 2011）

3名以上の著者の場合，（長野ほか 2010）および（NAGANO *et al.* 2011）

雑誌の場合，著者，発表年，表題，雑誌名，巻数，論文所在ページの順に，単行本の場合，著者，発行年，書名，発行所，発行地（，必要があれば引用ページ）の順に，Web ページを参照する場合，著者，発行年，表題，URL アドレス，参照日の順に記述する.

著者 A1，著者 A2，著者 A3，2010，論文表題，掲載雑誌名，23(4)，pp.34-45

著者 B1，著者 B2，著者 B3，2011，単行本の書名，出版社名，発行地名，pp.56-67

著者 C1，2016，Web ページ等の表題，<http://cril-shinshu-u.info/>（accessed 2017.12.06）

信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター紀要
『教育実践研究』投稿のためのチェックリスト

論文名: _____

1. 書式<タイトル部分>

| 確認 | 確認事項 |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 種別(<原著論文><論文><資料・解説><実践報告>等)を左上に記入 10ポイント |
| <input type="checkbox"/> | 日本語タイトルは, MS ゴシック, 12ポイント, 中央揃え |
| <input type="checkbox"/> | 日本語サブタイトルは, MS ゴシック, 11ポイント, 中央揃え |
| <input type="checkbox"/> | 著者名と所属は, MS明朝, 10ポイント |
| <input type="checkbox"/> | 英文タイトルは, Century, 12ポイント, 中央揃え |
| <input type="checkbox"/> | 英文サブタイトルは, Century, 11ポイント, 中央揃え |
| <input type="checkbox"/> | 英文著者名と所属は, Century, 10ポイント |
| <input type="checkbox"/> | 英語要旨は, 150 語以内, Century, 10ポイント ※ただし, <実践報告>は不要 |
| <input type="checkbox"/> | 英語要旨の1行目は, 全角2字分下げる ※ただし, <実践報告>は不要 |
| <input type="checkbox"/> | 和文キーワードは, MS明朝, 10ポイント, 括弧は【 】 |
| <input type="checkbox"/> | 和文キーワードは, 5語以内, 全角空白で区切る |
| <input type="checkbox"/> | 所属は, 投稿時点の所属になっている |
| <input type="checkbox"/> | 英文の著者名と所属は, 正しいスペルになっている |

2. 書式<本文>

| 確認 | 確認事項 |
|--------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 用紙サイズは, A4, 縦置き, 横書き |
| <input type="checkbox"/> | 1行の文字数は, 40文字(実際に数える) |
| <input type="checkbox"/> | 1ページの行数は, 36行(実際に数える) |
| <input type="checkbox"/> | 余白は, 天 25mm, 地 60mm, 左 40mm, 右 35mm |
| <input type="checkbox"/> | 本文の文字サイズは, 10ポイント |
| <input type="checkbox"/> | 本文フォントは, 和文はMS 明朝, 英文はCentury |
| <input type="checkbox"/> | 全体で10ページ以内 |
| <input type="checkbox"/> | 各ページ右下すみに, ページ番号を振る |
| <input type="checkbox"/> | 句読点は, 全角のカンマ「, 」, ピリオド「. 」 |
| <input type="checkbox"/> | 大見出しの番号とピリオドは, 全角, MS ゴシック, 10ポイント |
| <input type="checkbox"/> | 中見出し以下の数字とピリオドは, 半角, フォントは本文と同じ |
| <input type="checkbox"/> | 図表のキャプションは, MS ゴシック, 10ポイント |

3. 引用等

| 確認 | 確認事項 |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 引用文献は, すべてリストアップしている |
| <input type="checkbox"/> | 引用文献の記載は指定通り行われている |
| <input type="checkbox"/> | 本文中の引用文献の記載方法は指定通りである |
| <input type="checkbox"/> | 本文中の商品ロゴや登録商標など企業等の指定通りに適切に記載されている |
| <input type="checkbox"/> | (科研費等研究助成を受けている場合)資金制度・研究費名, 研究課題名, 課題番号等を明記している |

4. 研究倫理等

| 確認 | 確認事項 |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 【剽窃・著作権の侵害】他の著作物の利用については, 出典を明記して引用として扱っている。 |
| <input type="checkbox"/> | 【捏造】データの捏造, データの部分的な改竄, データの恣意的な削除等をしていない |
| <input type="checkbox"/> | 【二重投稿】内容の主要な部分が, 国内外の学会誌, 機関誌, 商業誌等に掲載, 掲載予定, あるいは投稿中や投稿を想定していない ※口頭発表論文をまとめて投稿したものは差し支えない |
| <input type="checkbox"/> | 【調査対象者の人権等の保護】調査対象, 被験者, 協力者のプライバシーの保護等, 人権を尊重し, 研究に協力することに合意を得ている |
| <input type="checkbox"/> | 【共同研究者の合意】論文として公表すること, 第一著者, 連名者, 謝辞等について, 研究に携わった全員の合意を得ている(特に, 卒論, 修論に関係している場合は, 本人の合意を得たことがわかるようにすること) |

上記論文に関する全ての責任は著者にあります

令和 年 月 日

著者代表: _____ (自筆)